

食産業が求める「育成すべき人材像」のために
中村学園大学 + ベルリッツ
福岡初！実践的英語プログラムを正課授業に導入



右：株式会社進研アド 九州支社 支社長代理 大野優子 様
左：中村学園大学 学長 甲斐 諭

平成29年度4月に中村学園大学で新たに開設するフード・マネジメント学科では、福岡の大学では初めて、正課授業としてベルリッツ・ジャパン（ベネッセホールディングス、以下ベルリッツ）による英語プログラムを導入する契約を、株式会社進研アド（ベネッセホールディングス）と締結いたしました。

<本件の経緯>

フード・マネジメント学科は開設にあたり、経済産業省の支援のもと九州を中心に事業を展開する食関連企業など産学官33団体が集まる「食産業サービス経営人材育成コンソーシアム」を開催し、食産業が求める「育成すべき人材像」「当該人材像が有すべき能力」を明らかにし、教育プログラムを体系化しました。

この教育プログラムの中で「実践的な英語力」は注目する能力の一つです。食産業はメーカー・卸・中食・外食にかかわらず、海外でのビジネスが当たり前になってきており、基礎的な語学力は必須となりつつあります。こうした現状を踏まえ、本学の大学広報はじめ総合的な支援をしている株式会社進研アドと契約を締結し、全世界でビジネスパーソンへの高度な語学学習を提供するベルリッツによる、実践的な英会話を中心とする英語プログラムを正課授業として開講するに至りました。

<概要>

1年生前期の総合基礎英語はフード・マネジメント学科の全学生を対象とし、必修授業と位置づけ、大学がすべての授業料を負担します。大学入学までのインプット中心の学習スタイルではなく、学生が「発話」する時間を十分に確保し、英語でのコミュニケーション力を育成します。さらに、1年生後期からは、もっと英語を勉強したい学生向けにベルリッツによる様々な英語プログラムを用意。留学や海外研修も視野にいれ、多くのビジネスパーソンを育ててきたベルリッツの語学教育ノウハウを生かし、社会で通用するビジネス英語を身につける事が可能となります。

中村学園大学は、CIA（Culinary Institute of America）やハワイ大学と包括連携協定を結び、ダブルディグリー（一定期間に複数の学位を取得できる履修形態）実現に向け協議を進めています。

本件に関する問合せ先

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 入試広報部広報室 / 島田

〒814-0198 福岡市城南区別府 5-7-1

TEL (直通) 092-851-2634 / FAX 092-851-2539

Mail kouhou@nakamura-u.ac.jp

URL <http://www.nakamura-u.ac.jp>